

2026 年第 2 回評議員会議事録

日時：2026 年 7 月 11 日（土）13:00～15:00

場所：日本大学文理学部 本館 2 階会議室 B および Zoom によるハイブリッド形式

出席者※：

吾郷日出夫（編集幹事）、足立伸一^{a,z}、五十嵐教之^a、井上豪^{a,z}、海野昌喜^a（行事幹事）、大原高志^a、尾関智二（会長）、河野正規^a、熊坂崇^{a,z}、小島優子^{a,z}、小松一生^{a,b}、坂井直樹^{a,z}、清水伸隆^{a,z}、菅原洋子^a、杉本邦久^{a,z}、関根あき子^a、千田俊哉^{a,z}、玉田太郎^a（庶務幹事）、藤間祥子^{a,z}（監査役）、徳田誠（広報幹事）、中川敦史^a、中塚晃彦^{a,z}、西堀英治^{a,z}（男女共同参画幹事）、禾晃和^a、藤井孝太郎^a（会計幹事）、森川大輔（情報幹事）、山田悠介^a、和田啓^{a,z}

委任状出席者※：青柳忍^a、植草秀裕^a、久保田佳基^a、南後恵理子^a、橋爪大輔^a、宮原郁子^a

欠席者※：杉山和正（監査役）

議長：尾関智二（会長）

議事録作成者：玉田太郎（庶務幹事）

※2026 年度第 2 回評議員会（定数 30，構成員は^aで表記）：出席 24，委任状出席 6

Zoom 出席者（^zで表記）

（五十音順、敬称略）

上記のとおり定足数に足る評議員の出席があったので、議長は定刻に開会を宣し、下記のとおり議事に入った。また、議事録署名人として玉田庶務幹事が選出された。

議事

報告事項

1 幹事報告

1.1 庶務幹事報告（玉田庶務幹事）

2026 年 3 月 30 日から 7 月 3 日までに、27 名の会員が退会したことが報告された。また、会費滞納者の一覧が表示され、知り合いの方への声掛けが依頼された。さらに、賞・助成金等旨の申請採択状況として、本年の日本学術振興会育志賞への応募がなかったこと、および過去 10 年の応募状況が報告された。学会推薦がない状況が数年続くと推薦依頼が学会に来なくなり若手の受賞機会が減ってしまうことに繋がるため、積極的な応募をお願いしたい旨、尾関会長から補足説明がされた。

1.2 会計幹事報告（藤井会計幹事）

2025 年度の決算および 2026 年度の予算について報告があった。特別会計のうち国際会議口に関しては、台湾側からの AsCA2025 の会計報告を受けて、参加費補助と返還金が相殺されること、返還金は一般会計から国際会議口に振替する旨が説明された。また、IUCr2026 参加助成について、7 名の応募者中会費未納の 1 名を不採択としたが、次年度以降の国際会議参加助成の際に未納の場合は速やかに納入する旨を伝えることを徹底することが報告

された。最後に、中川年会長および尾関会長から AsCA2025 成功について感謝の意が示された。

1.3 編集幹事報告（吾郷編集幹事）

会誌の発行状況と特集内容について報告され、次号の準備状況および特集テーマも説明された。また、67 巻第 3 号から「最近の研究から」を復活することと「最近の研究動向」との区別のため新たな名称を検討中であることが報告された。さらに、プレプリントサーバーに先行公開された原稿の非受理について説明がなされた。

1.4 行事幹事報告（海野行事幹事）

対称性・群論トレーニングコース、「粉末 X 線解析の実際」講習会、2026 年度以降の年会開催計画、CrSJ Keynotes、Micro ED 講習会の立ち上げについて説明があった。対称性・群論トレーニングコースでは、英語・日本語コースそれぞれに 1 名ずつ学生会員のサポートがあることが紹介された。2027 年度年会については委員会メンバー、開催場所候補、若手の会実施計画が紹介された。Micro ED 講習会については、来年度からの実施に向けて企画を考えていくことが報告された。

1.5 情報幹事報告（森川情報幹事）

日本結晶学会ホームページの更新および閲覧状況について報告された。X（旧 Twitter）の運用については、いま一つ伸びないフォロワー数やアクセスをフォロー・投稿数を増やすことで活性化を目指すことが紹介された。

1.6 広報幹事報告（徳田広報幹事）

メールマガジン「日本結晶学会からのお知らせ」、会員からのお知らせ「日本結晶学会ニュース」の配信、および X での結晶学会誌の過去記事紹介について報告された。

1.7 男女共同参画推進幹事報告（西堀男女共同参画推進幹事）

今年度の「女子中高生夏の学校」に MOF を中心とした内容でポスター参加すること、第 6 回「科学技術系専門職の男女共同参画実体調査（大規模アンケート）」アンケート案に対し結晶学会から変更なしと回答したことが報告された

2 AsCA 関連（杉本 AsCA 評議員）

タイのバンコクで開催される AsCA2027 については、詳細が分かり次第アップデートすることが報告された。来年度からの AsCA 評議員については、分野およびジェンダーバランスを踏まえて藤間会員と大原会員が会長選任されたことが紹介された。

3 IUCr 関連（中川日本学術会議 IUCr 分科会委員長・IUCr 理事）

日本学術会議から IUCr 加盟費が支払われメンバー継続されたことが報告された。IUCr2026 については、プログラムと各賞受賞者および General Assembly での日本代表が紹介された。

4 日本学術会議関連（中川結晶学分科会委員）

結晶学分科会と IUCr 分科会の合同会議について日程と議題が紹介された。

審議事項

1. 会員異動について

玉田庶務幹事より、2026 年度第 1 回評議員会以降の新規入会者の紹介と入会申込書の閲覧

が行われ、全員の入会が満場一致で承認された。承認後、2026 年 3 月 24 日から 7 月 3 日までの会員の異動状況について報告があり、2026 年 7 月 3 日現在の会員数は 924 名（個人会員 909 名、賛助会員 15 社）あることが示された。

2. 共催・協賛等依頼について

学会への共催・協賛等の依頼として、協賛依頼 10 件、共催依頼 1 件、後援依頼 1 件が報告され、すべての案件について満場一致で承認された。

3. 2026 年度学会賞について

尾関会長より、2026 年度学術賞 2 件および進歩賞 2 件について、学会賞選考委員会がオンラインで開催されたことが報告され、受賞理由および題目とともに以下の 4 名が推薦され、満場一致で承認された。

学術賞：菅 倫寛 会員「無損傷・時間分割タンパク質結晶解析法による光合成の水分解反応の解明」

学術賞：平野 優 会員「高分解能・高精度の分子構造情報に基づく生体内電子伝達反応メカニズムの解明」

進歩賞：高場 圭章 会員「線種・線源特性を活用した X 線・電子線構造解析法の高度化および電荷積分型検出器による拡張」

進歩賞：中室 貴幸 会員「透過電子顕微鏡による相転移過程および構造形成ダイナミクスの研究」

なお、各賞の推薦理由書については、評議員会終了後、評議員コメントを基に選考委員会で文面の修正を行い、メール審議で評議員会の承認をとることとした。

4. 2028 年会について

年会開催ガイドラインに基づき、2028 年度年会について岡山での開催と現地実行委員長候補者として菅倫寛会員が提示され、満場一致で承認された。

5. その他

講習会への学会からの準備金の配布および若手育成 WG の立ち上げについて、幹事会において議論を開始したことが報告された。

6. 次回評議員会日程

2026 年度第 3 回評議員会は、11 月 20 日（金）に年会会場のトークネットホール仙台においてハイブリッド開催することとなった。

以上

上記の決議を確認するため、議事録を作成し、議長及び議事録署名人が記名捺印する。

2026 年 7 月 22 日
一般社団法人日本結晶学会
評議員会

議長・会長 尾関 智二 印

庶務幹事・評議員 玉田 太郎 印